

中国の記事から（畜産）

2006年8月10日号

目次

◎全国の牛乳製品生産量は1145万トンに

【経済日報 2006年08月01日】

◎中国、米国からの牛肉輸入を条件付きで再開

【国際商報 2006年08月07日】

◎世界銀、黒龍江省の乳牛飼育場建設事業に1億ドル融資

【市場報(人民日報主編)2006年08月07日】

◎全国の牛乳製品生産量は1145万トンに

【経済日報 2006年08月01日】

第2回中国乳牛発展大会で、1998年から2005年にかけて全国の乳牛頭数は年間16%増、乳製品生産量は21%増、1人あたりの乳製品生産量は23%増を記録したことが分かった。また、2005年の全国牛乳製品生産量は1145万7千トンに上っている。近年、中国の乳業は急成長し生産能力も拡大している。

一方、乳牛飼育場不足が乳業発展のネックとなっており、中国乳業協会の劉成果・会長は、「乳牛の大規模飼育を進めていくべき」と指摘する。同協会は今後、乳牛の生産能力測定、良種登録を実施する計画である。第11次5ヵ年計画(2006～2010年)期間中、年間50万頭の生産能力を測定していく(現在は年間6万頭)。

◎中国、米国からの牛肉輸入を条件付きで再開

【国際商報 2006年08月07日】

国家質量監督検疫総局(国家質検総局。製品品質を管理する。)は、7月31日に2006年第89号公告を発表、アメリカから生後30ヵ月以内の骨なし牛肉の輸入を条件付で再開した。輸入が認められたのは脊柱、頭骸、脳、眼球、脊髄、扁桃、回腸末端部分を除去した骨なし牛肉。先ごろ開かれた両国の第17回商業貿易連絡委員会での合意に基づく措置で、両国貿易の発展に大

きな意義を持つものとみられる。アメリカで2003年12月23日にBSE牛が発見されたことを受け、中国はアメリカからの牛、関連製品の輸入を禁止していた。

◎世界銀、黒龍江省の乳牛飼育場建設事業に1億ドル融資

【市場報(人民日報主辦)2006年08月07日】

黒龍江省発展改革委員会は、世界銀行が支援する乳牛飼育場建設事業が本格スタートしたと発表した。事業投資額は14億8000万元、世界銀行が1億ドルを融資する。乳牛飼育に12億6500万元、環境施設整備に8700万元、サービス施設整備に6590万元、トレーニングに3280万元が投じられる予定。乳牛飼育場は5年をかけて建設。ハルビン、チチハル、佳木斯、大慶など8都市22県で乳牛飼育場132カ所、廃棄物処理施設24カ所を建設、25万ムー(1ムーは6.67アール)の草原を整備していく。同事業の実施に際して全省の農家5500世帯から融資を活用して乳牛4万2000頭を購入、飼育規模を拡大していく。

本情報は、株式会社日本能率協会総合研究所により
翻訳された中国の新聞記事をもとに、同社の許可を得て
独立行政法人農畜産業振興機構が整理したものです。